

平成19年度

第5期

少年町長・議員活動 報告書



平成20年3月 山形県遊佐町

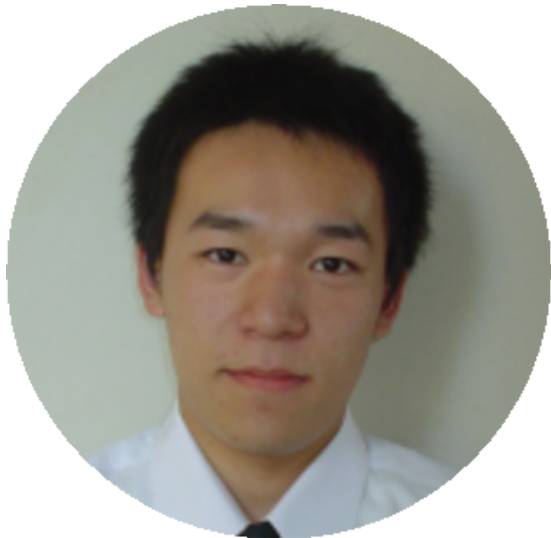
目次

遊佐町イメージキャラクター



少年町長・町長挨拶	… 2
遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告	… 3
遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項(第5期)	… 4
選挙チラシ	… 7
若者の意見調査票	… 8
選挙広報	… 9
有権者(中高生)の町への意見(抜粋)	… 11
政策提言 1 第2回少年議会より	… 13
政策提言 2 第3回少年議会より	… 19
少年議会の活動	… 26
遊佐町少年町長・少年議会公選事業プロジェクト名簿 おわりにかえて	… 28





齋藤 和紀

第5期少年議会、少年町長の齋藤和紀です。少年町長を経験して感じた事は、人をまとめるというのはとても大変な事だなと感じました。昨年は、議員として少年町長の下にいたのですが、いざ「町長」という立場に立って活動してみると、全員の意見を聞いて、全員の意見をまとめるのはとても難しかったです。意見集約や政策を実行するための計画を考える時が一番緊張しました。「昨年の町長、加奈さんのように自分は動けているのか？」と、度々不安になることがあり、自分の力の無さを痛感しました。しかし、議員全員のサポートを受け、何とか最後まで頑張る事ができました。辛かった反面、楽しかった事や、学んだ事は数多くありました。前の話とは、矛盾するかもしれませんが、一番上に立つという自身と自覚がついたと思います。人の上に立つという

のは、とても覚悟のいる事で責任も重いものでした。しかし、それがリーダーという者が持つ資格だと思いました。学校生活でも生徒会に入っていて、上に立つというのはわかっていたのですが、自信はそんなにありませんでした。町長になって日が過ぎていくと、リーダーの重要性に気付くようになりました。「いくら能力があっても誰かが指揮を執らないと、100%の力は発揮できない」という事が理解できました。この事がわかった時から僕はリーダーの必要性を理解しました。生徒会の活動でも積極的に動き、生徒をまとめたりするようになりました。

このような経験から、僕はまた一歩理想の自分に近づく事が出来たと思います。少年町長をやってとても満足しています。頼りない自分についてきてくれた議員のみんなには感謝しても、したりないぐらいです。

「ありがとう」

これで第5期少年町長、最後のあいさつとさせていただきます。

小野寺 喜一郎

第5期少年町長の齋藤和紀くん、そして7人の少年議員のみなさん、多忙な学校生活の中での約半年間の活動、大変ご苦労様でした。また、ありがとうございました。

この遊佐町少年町長・少年議員公選事業は、若者達が自分達の住む地域に目を向け、まちづくりの担い手として、あらゆる場で活動して欲しいという願いを込めて実施してきました。

今回もみなさんから、若者の視点から遊佐町を捉えた多くの政策提言をいただきました。また、スペシャルオリンピック ストーチラン遊佐やマイバッグ運動の実施、遊佐ロックの開催、学校からの帰宅時間帯における電車増発の陳情、さらには、第4期少年議会で決定した“若者が選ぶ町民花”であるシバザクラの植栽など数々の活動をしていただきました。

今回事業で実施できなかった課題につきましても真摯に受け止め、その実現のために全力をあげていきたいと考えております。

若者達が未来を創造するため集い語り合い、自分達の手で実現していくことは、遊佐町のこれからのまちづくりにとって特に重要なことです。これからも、行政として、そして共に遊佐町の未来を考える仲間として、若者達が生活課題や地域課題を解決していくその熱意を積極的に支援し、見守っていききたいと考えております。

第5期少年町長・少年議員の活動成果と遊佐町への想いが、続く第6期のみなさんにつながるように願いながらお礼といたします。

遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
少年町長・少年議員の候補者募集		広報ゆざ 6月1日号	HPも同時開設
立候補者受付期間(告示)	6月4日(月)～6月8日(金)	遊佐町少年町長・議員公選 事業事務局	立候補者募集開始 定数少年町長1少年議員10名立候補の抱負を一緒に提出する。
立候補者告示	6月8日(金)		
選挙広報・投票用紙送付(管外高校生)	6月18日(月)	管外各高等学校郵送	
選挙広報送付(管内高校生)	6月18日(月)	管内高等学校	
選挙広報送付(遊佐高校・遊佐中学校)	6月18日(月)・20(水)	遊佐高等学校・遊佐中学校	
平成19年度遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式	7月1日(日)	議事所	当選証書・議員バッジ交付
第1回少年議会	7月1日(日)	議事所	抱負の発表・第4期町長、議員との話し合い
第1回少年議会全員協議会	7月16日(月)	202会議室・町内	今後の活動方法とスケジュールについて・町内めぐり
SO名誉会長細川佳代子氏と会談	7月18日(水)	遊佐高等学校	SOトーチラン協力要請
遊佐町夕日祭りCM収録	7月23日(月)	YTS酒田	花火大会PR用CM収録
第2回少年議会全員協議会	7月30日(月)	202会議室	有権者の意見集約ワークショップ
第3回少年議会全員協議会	8月4日(土)	202会議室	政策提言まとめ・盆踊り大会への対応について
第38回町民盆踊り大会への参加	8月14日(火)	第38回町民盆踊り大会会場	
第2回少年議会	8月19日(日)	町役場議事所	政策提言
スペシャルオリンピックス採火式・分火式	8月25日(土)	山形市山寺根本中堂	
第4回少年議会全員協議会	8月30日(木)	202会議室	政策予算45万円の使い方・ツデーマーチへの対応について
第15回鳥海ツデーマーチエール	9月1日(土)・2日(日)	遊佐町町民体育館前広場	全国からのお客さんに出発のエールを送る。
政策検討(第1班)	9月3日(月)	201会議室	政策についてより深く検討するため、二班に分けて担当する政策を決めて議論を行った。その後全員協議会で報告し、再度話し合いを行い政策の実施内容を決定した。
政策検討(第2班)	9月6日(木)	202会議室	
第5回少年議会全員協議会	9月13日(木)	202会議室	政策予算45万円の使い方・芸術祭ポスター選考
第6回少年議会全員協議会	10月3日(水)	202会議室	政策予算45万円の使い方・神鹿角切祭への対応について
神鹿角切り祭	10月8日(月)	大平山荘	角切りイベント・ボランティア
あっぱれさんめ祭	10月21日(日)	トレーニングセンター	SOブース担当
若者が選ぶ町民花植栽	10月28日(日)	八面川	シバザクラの植栽
トーチラン遊佐実行委員会	10月30日(火)	町役場議事所	トーチラン打ち合わせ
トーチラン遊佐開催	11月3日(土)	町内	実行委員として運営・参加
第7回少年議会全員協議会	11月9日(金)	202会議室	政策予算45万円の使い方・遊佐ロックの対応について
遊佐町子育てフォーラム	11月11日(日)	遊佐小学校	少年町長が意見発表
JR羽越本線増発へ向けた署名活動	11月12日(月)～22日(木)	各高校・遊佐中学校	各校への用紙の配布による
遊佐ロック打ち合わせ	11月14日(水)	202会議室	遊佐ロック打ち合わせ・準備
遊佐ロック打ち合わせ	11月19日(月)	202会議室	遊佐ロック打ち合わせ・準備
音楽イベント「遊佐ロック」開催	11月25日(日)	中央公民館	少年議会が企画・運営
第8回少年議会全員協議会	11月30日(金)	202会議室	政策予算45万円の使い方
JRへ陳情	12月18日(火)	象潟駅	署名・要望書の提出
マイバッグ運動	12月22日(土)	マックスバリュ・エコーブ遊佐店	ゴミ問題に関するアンケート・マイバッグの配布
第3回少年議会	12月22日(土)	町役場議事所	町当局への政策提言2回目

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第5期）

1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と出番が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。（相互教育）

5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生。

構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- (1) 少年町長（1名） 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (2) 少年議員（10名） 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (3) 少年副町長・少年監査 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての構成者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 事業期間 平成19年4月～12月(第5期)

12. 事業スケジュール(概案)

平成19年5月	第5期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)
平成19年5月	各高校への協力お願いと生徒への主旨説明
平成19年5月	立候補者対策
平成19年6月	少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成
平成19年6月	全構成員による直接選挙
平成19年7月	当選証書の交付及び事業説明
平成19年7月	第1回少年議会
平成19年7月～8月	政策討議
平成19年8月	第2回少年議会
平成19年8月	遊佐町長への予算要求
平成19年9月～	予算執行(事業の実施)
平成19年12月	末日、任期満了

13. 留意点

(1) 中学生・高校生への周知方法

専用HPを開設する。 - 遊佐町公式HPへ

各高校長あて協力依頼文書を発送する

遊佐中学校及び各高等学校へ出向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。(プロジェクトで分担)

対象者用チラシ、ポスターを作成する。

(2) 町民への周知方法

専用HPの他、広報を活用する。

(3) 選挙管理の方法(投票事務)

投票事務は次のとおりとする。

管内高等学校・遊佐高等学校・遊佐中学校

各学校ごとに投票期間中1日を投票日に設定し担当プロジェクトが出向き行う。

5 投票管理は、投票用紙を配布し有権者の意見を記載して候補者の投票を行う。

管外高等学校

立候補者告示にあわせて、選挙広報及び投票用紙を各高校に送付し、対象者に配していただくよう依頼する。投票は、遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に設置された投票箱にて行う。

遊佐町内公共機関における投票箱の管理は、各施設管理者にお願いする。

開票事務は、第4期少年町長・少年議員にお願いする。

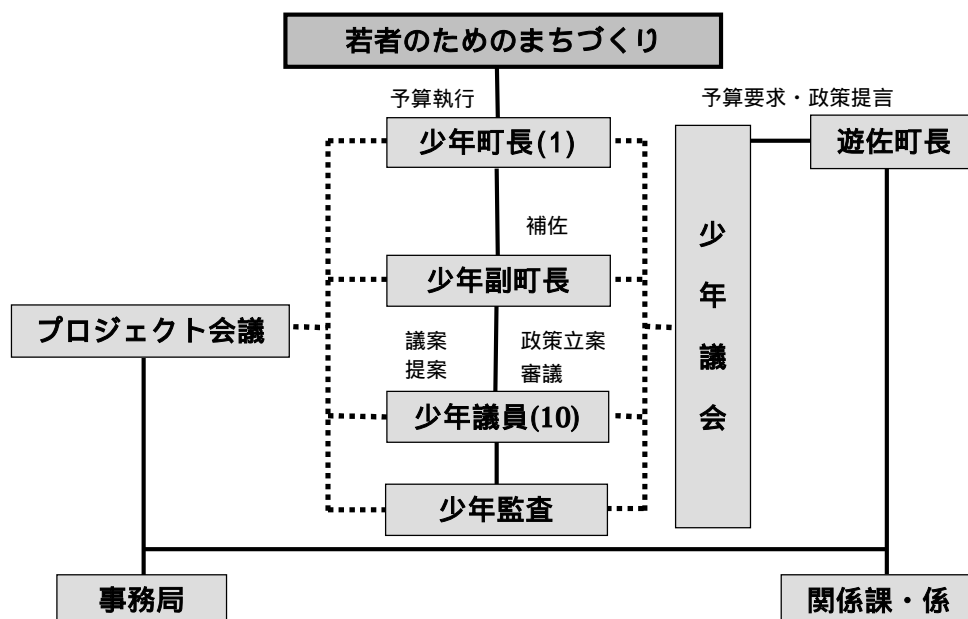
(4) 予算

政策予算 全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

各対象校説明日・投票日内容

対象校	対象	生徒説明日	参加人数	意見調査票受付日	受付日参加人数
酒田東高校	70	5月30日	66	6月26日 午後12時40分～	65
酒田西高校	66	5月29日	21	6月25日 午後12時40分～	19
酒田北高校	26	5月28日	16	6月29日 午後12時40分～	9
酒田商業高校	57	5月17日	45	6月26日 午後1時～	34
酒田工業高校	92	5月28日	62	6月27日 午後12時50分～	78
酒田中央高校	94	5月31日	87	6月25日 午後12時30分～	86
酒田南高校	31	5月30日	21	6月28日 午後12時～	22
天真学園高校	6	5月28日	5	6月29日 午後3時50分～	6
遊佐高校	146	5月30日	132	6月25日 午後12時20分～	136
遊佐中学校	476	学年毎	461	学校内各クラスにて実施	449
管外高校	41	各学校を通して対象者にチラシ、広報、意見調査票を送付。意見受付期間6月25日(月)～7月1日(日)に、意見受付場所にて受付箱に投函してもらうこととした。			

遊佐町少年町長・少年議会公選事業構造図



Youth President's Election 2007 in YUZA

選ぼう
討議しよう
実現しよう

明日の遊佐町に
ほくたちはわたしたちは
提案します



1 第5期少年町長と
第5期少年議員の立候補者を募集します。

遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に通学する高校生の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選び少年議会を開催します。

立候補者受付期間 平成19年6月4日(月)～8日(金)

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出にて受付します。ふるって立候補ください。

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただけます。

2 中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。

議会・全員協議会の開催

少年町長と少年議員は、有権者の意見集約と町への政策提言のため、議会・全員協議会を開催します。

3 町では、中学生、高校生の政策を尊重し、
その実現を図ります。

遊佐町では、「中学生、高校生の政策」を尊重し、その実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を実現します。

受付
遊佐町役場
総務企画課

第5期少年議会
活動予定

- (1) 有権者の意見集約と町への政策提言 (7月～8月)
- (2) 政策予算による自分たちの政策実現のための活動 (9月～12月)
- (3) 町内各種イベントへの参加 (7月～12月)

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ()	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局
遊佐町役場総務企画課企画係 (担当 本間康弘・奥山仁志・渋谷和弘)
〒999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL.0234-72-3311
(e-mail) youth@town.yuza.yamagata.jp

届け出は ▶ FAX.0234-72-3310

平成19年度は、立候補者が定員に満たなかったため、全員が当選、選挙は実施しませんでした。そこで従来、投票用紙に記載していただいた若者の町に対する意見を調査表を別途配布して記載・提出していただきました。

遊佐町少年議会

若者の意見調査

学年（中・高）年（男・女）

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの意見をおよせください。少年町長・少年議員に、あなたの意見をとどけましょう。

1 あなたは、今の遊佐町をどう思いますか。自由に記入ください。

2 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか。自由に記入ください。

3 あなたは、少年町長・少年議員についてどんなイメージを持っていますか。自由に記入ください。

4 参考におうかがいします。
あなたが、今年立候補できなかつた主な理由は何ですか。次の中から一つ選んで、当てはまる番号に○を記入ください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ① 学業又はクラブ活動で時間が
ないから。 | ② 選挙になるのが嫌だから。 |
| ③ ご家族の方に反対されたから。 | ④ 活動内容がよくわからないから。 |
| ⑤ その他（ ） | |

ご意見、ご協力ありがとうございました。
今後、少年議会は、遊佐町の若者の代表として活躍します。
みなさんの協力と応援をよろしく願います。

Youth President's Election 2007 in YUZA

遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に
ぼくたち わたしたちは
提案します



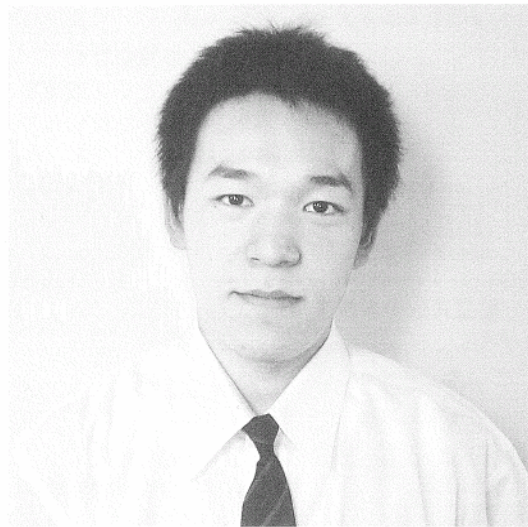
米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

第5期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成19年6月4日(月)から6月8日(金)まで、第5期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長には1名、少年議員には7名の立候補がありました。その結果、少年町長は定員どおり、少年議員は定員に満たなかったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍します。応援よろしくをお願いします。

また、これからの少年議会の活動の源となるみなさんの遊佐町に対するご意見を、6月25日(月)から7月1日(日)まで受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、遊佐駅・吹浦駅・中央公民館・町立図書館に設置してある受付箱に投函していただくか、役場総務企画課企画係までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。



少年町長

県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

さいとう

かずのり

齋藤 和紀

昨年度、少年議員を務めてきた経験を生かし、さらに中学生や高校生が楽しく過ごせる遊佐町にしたいと思い、少年町長に立候補しました。中学生・高校生の視点から、自分たちのためになるような活動を多く取り入れていきたいです。また、少年議員の活動をもっと多くの方に理解してもらえるような取り組みもしていきたいです。

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局○遊佐町役場総務企画課企画係(担当/本間康弘・奥山仁志・渋谷和弘)
〒999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL.0234-72-3311
(e-mail) youth@town.yuza.yamagata.jp

遊佐町 少年議員

私立天真学園高等学校 1年

(地区●遊佐)

さとう まりな
佐藤麻里奈



自分の住んでいる遊佐町を自分達の手で変えていけたらなあと思いました。小さなことからでも良いので、遊佐町をより良い町にしていきたいと思います。精一杯頑張ります。

県立遊佐高等学校 1年

(地区●藤岡)

なり さわ かず き
成澤 一樹



立候補した理由としては、人生でこのようなことができるチャンスはあまり無いと思い、立候補しました。このことをやるうえで、2、3年生の足をひっぱらないようにしたいと思います。

県立遊佐高等学校 1年

(地区●西遊佐)

みうら かず や
三浦 和也



これから自分があまり経験できないようなことができ、町への政策でより良く今よりもすしやすい遊佐町にしていきたいと思い、立候補しました。

県立遊佐高等学校 3年

(地区●吹浦)

しぶ や あかね
渋谷 茜



遊佐町をより良い町にできるよう町長に協力し、もっと多くの方に知って頂けるようPRしていきたいです。

県立遊佐高等学校 3年

(地区●酒田)

えん た ま り こ
遠田万梨子



せっかくの機会なので、遊佐町の議員として遊佐町をもっと活発的な町にしていきたいと思い立候補しました。

町立遊佐中学校 2年

(地区●高瀬)

うえ の なつ み
上野 夏実

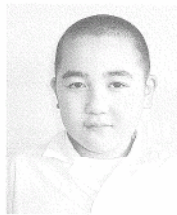


自分の好きなことを役立てられるということに対して、興味がわきました。少しでも遊佐と皆さんの力になれるようがんばりたいと思います。

町立遊佐中学校 1年

(地区●遊佐)

おお た りゅう すけ
太田 隆佑



ぼくは遊佐町のこまっている人で、あまり意見の言えない人のために、できる範囲で全力でがんばっていきこうと思います。

有権者（中高生）の町への意見

若者の意見調査票に記載頂いた中から、具体的なものを中心に掲載します。

Q1. あなたは、今の遊佐町についてどう思いますか？

肯定的なもの

内 容	数
自然（水・空気・木）が多くきれい	147
きれいで明るく、いい町	73
大きな問題もなく、平和で安心して楽しく過ごすことができる	26
便利でとても暮らしやすい	24
明るく活気にあふれている	17
町の人たちが、明るくとても親切でやさしい	16
あいさつが明るくしっかりしている	14
水と米がうまい	8
地域間交流が多く、仲が良い	8
いろいろな行事が行われている	6
合併していないのがいい	5
ごみが少ない	2
少年議員がいろいろ便利に暮らせるように工夫してくれた	1
ボランティアが他の町より活発	1
交通がよい	1
マナーをきちんと守るいい町	1

否定的なもの

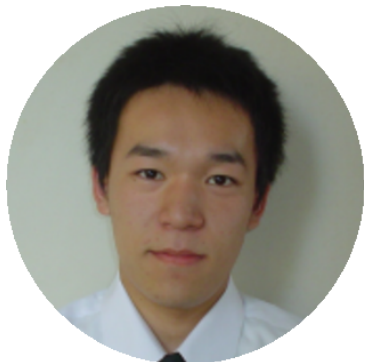
内 容	数
明るさ、にぎやかさ、華やかさが足りなく、活気がない	82
ゴミが多く汚い、ポイ捨てが多い	79
店が少ない	39
遊ぶ場所が少ない	28
少子高齢化	21
いいところが生かせていなく全体的に暗い	18
自然環境が悪い	10
あいさつをもっと徹底したほうがいい	9
街灯がないなど、まだ危険な場所がある	8
借金がとても多い	8
バスの利用がしにくかったり、電車の本数が少ないなど、交通が不便	8
不便で住みにくい	7
楽しい行事が少ない	6
公共の場が少ない	3
合併したほうがいい	3
マナーをもっと守ってほしい	3
町の代表、シンボルとなるものがない	3
いじめが多い	2
交流の場がない	1
外から人が来ない町	1
ボランティアは学校では積極的だが、個人ではそうではない	1

Q 2 . あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいですか？

内 容
借金をなくし町の経済をなおす
いじめをなくす
あいさつが活発
うまい米をつくって下さい
ボランティアの活動をしてもらいたい
合併してほしい
合併したくない
たくさんの人が訪れる町
若者のマナーアップ等
選挙活動を学校の近くでやってはいけない事にしてほしい
体操部にマットを
学校にクーラーをつけてほしい
ゴミ箱をもっと増やしてほしい
もっと明るく楽しい行事をやってほしい
少年犯罪などのない町にしてほしい
人口が減りつつあるので、もっと人口を増やしてほしい
子供を増やして、少子高齢化を無くしてほしい
暗く、危ない場所が多いので、裏道や通学路に街灯をつけてほしい
町がいい方向へいけるように、もっと発展させてほしい
危険箇所を直して、安全で事故が無く安心して暮らせるようにしてほしい
ポイ捨てをやめさせ、ゴミが無いきれいな町にして欲しい
全国に知ってもらえるようにPRしてほしい
公共の場に花や木を植えて明るい町にしてほしい
中高生の意見を取り入れて活気ある町にしてほしい
バスや電車を利用しやすくしてほしい
交流の場を増やしてほしい
自然を大切にし、守っていく
遊佐町にしかないもの、自慢できるものを作る
みんなで楽しく遊べる場所がもっとほしい
また遊佐ロックをやってほしい
だれでも住みやすく活気があり、とても楽しい町

少年町長

齋藤 和紀



私は少年町長の齋藤和紀です。

今回、有権者の意見としてアンケートを取り集計したものを表にまとめてみました。表は、「今の遊佐町についてどう思うか」という質問をまとめたものです。10のグループと1つの中心に分ける事ができました。自然、マナー、ボランティア、安全、活気、あいさつ、暮らし、交通、行事、交流の10のグループです。その中でも肯定的な意見と否定的な意見に分かれました。

例えば、自然のグループです。「自然が多くきれい」という意見と「自然環境が悪い」という意見もあるのです。やはり個人の考えなので感じ方が違うかもしれません。しかし、そういう意見もあり遊佐町をきちんと見ているということがわかります。他のグループでも半分半分ぐらいでそういった意見がありました。遊佐には、いい所も悪い所もあるということがわかりました。

しかし、中心の意見に「いいところが生かしていない」というのもありました。私は、これに全ての意見が繋がってくるのではないかと思います。例えば、あいさつをすれば、活気があふれ暗いイメージが無くなるはずで、交通がよくなれば、観光客が増え、交流を増やす事ができ、大きなイベントが増え、遊佐を全国にPRすることが出来ます。

このように10のグループをつなげると中心となる意見につながるのです。中心の意見に答えることが出来れば遊佐町を良くすることが出来ると思います。

私が今年度少年議会で実現したいことは、2つあります。遊佐ロックの屋外化と町民化の決定です。

まずは、遊佐ロックの屋外化です。昨年度の少年町長の池田加奈さんも政策提言で屋外化を訴えていました。昨年は屋内で行い百人の人が集まりました。屋内で百人も集まったので、屋外に出来ればもっとたくさんの人が集まると思います。有権者の意見にも「イベントをもっと増やし、明るく楽しい行事をやって欲しい」という意見がありました。僕もそう思いました。人が集まる、特に若者が集まるイベントとして遊佐ロックが一番最適だと考えています。今年、私は中高生のためになるような活動をしたいと考えています。このごろの少年議会は、町のために何かしようと頑張っている気がします。しかし、少年議会は少年少女の代表なので、町議会議員のような事をする必要はないと思います。町のために何かするのはいい事ですが、若者らしい、若者のためになるような事を自分達も楽しみながらやってみたいと思っています。はっきり言って遊佐で中高生が楽しめるようなイベントは今まで無かったと思います。遊佐ロックが初めてだったと思っています。遊佐ロックを屋外化できれば中高生にも「遊佐でもこんな楽しい事あるんだ!!」と思ってもらえると思います。こう思ってもらえるため私は今年遊佐ロックに力を入れて行きたいです。

次に頑張りたいことは、町民花の決定です。昨年、町長に逆提案をいただき、シバ桜を少年少女が選ぶ花としたのですが、本当の町民花は決定しておりません。町民花を決定したあかつきには、その花を遊佐町の至る所に植えたいと考えています。意見集約の結果に「道路脇や色々な場に花を植え、明るい町にして欲しい」という意見がありました。町民花を町の道路脇や色々な場所に植えられたらどんなに素晴らしい事だろうと思いました。それで町が明るくなったら、町民花を決定したかいがあり達成感があると思います。少年議会と中高生と一般の人が一緒になって花を植えるイベントを作るといいかなと思います。花を植える事もできるし、イベントとして催す事もでき、少年議会の活動も知ってもらえ一石三鳥というお得な事ができてとてもいいはずで、町民花を決定するとこんなメリットがあるので決定にも尽力をつくして頑張りたいと思います。

最後になりますが、先月にスペシャルオリンピックス日本名誉会長の細川さんとお話する機会がありました。スペシャルオリンピックとは知的障がい者のオリンピックで、来年3月に山形市を会場にして国内大会が行われるそうです。それに先立って各地で、トーチランを行いたいということでした。僕は遊佐町の中高生の皆さんと一緒に、このトーチランを成功させたいと思っています。また、できるだけ多くの町民の皆さんから、このトーチランのことを理解してもらい参加してもらいたいので、町としての協力をお願いします。

今年いっぱい頑張りますのでよろしくをお願いします。

渋谷 茜



私は少年議員の渋谷茜です。

私は「たくさんの方が訪れる町」についてと「交流」という二つの意見をまとめました。

まず初めに、「たくさんの方が訪れる町」についてです。有権者からの意見に「若い人がたくさん訪れるような町にしてほしい」、「もっとたくさんの方がくる町にしてほしい」という意見がありました。たくさんの方から遊佐町に来ていただくには、遊佐町を多くの方に知ってもらう事だと思います。遊佐町の地図や特産物に観光名所、宿泊施設、交通機関、そして行事や遊佐町ならではの自然、鳥海山や海・川、そこにいる生物まで詳しく載せたり、それを読みやすい本にして駅や宿泊施設に置いたり、ホームページにもより詳しく記載する事で、遊佐町に興味を持ち、訪れてくれる方が増えるのではないかと思います。

他には交通機関を利用しやすくするなどが必要だと思います。例えばバスです。遊佐町を回るバスの時間帯をもう一本でも増やしたらまた違うのではないかと思います。酒田と遊佐、または秋田と遊佐を結ぶバスがあったら、気軽にたくさんの方が遊佐町に遊びに来れるのではないかと考えました。

次に、「交流」についてです。有権者からの意見には「交流の場を増やしてほしい」などというものがあり、その中でも一番多かったのは「地域の人々との触れ合いを多くし、交流をもっと深められるようにしてほしい」という意見でした。そこで、交流の場としては、イベントの開催、地域の方が多く集まるのではと思う場所にベンチの設置、駅の近くに足湯の設置などを考えました。特に足湯の設置という考えは、吹浦にある足湯に幼い子からお年寄りまで、たくさんの方が利用し、くつろぎながら言葉を交わす姿がよく見られるので、幅広い年代の方が利用する駅の近くで、電車を待つ間などにでも多くの方が地域の方と交流できるのではないかと考えました。

これらの政策を実施し、たくさんの方がこの遊佐町を訪れ、訪れた方や地域の方と交流を深められるよう精一杯頑張っていきますのでご協力よろしくお願いします。

遠田 万梨子



私は、少年議員の遠田万梨子です。

私は「交通」について意見をまとめました。

最初に、集約した中で一番多かった意見を発表します。「バスや電車を利用しやすくしてほしい」でした。もし、この要望を改善することができるのなら、他の県からもたくさん人が来てくれて交流にもつながるのではないかと考えました。電車時間が2時間に1本では、他の県から来てくれる人達が面倒くさくなってしまいます。それに、足・腰の悪い人やおじいちゃん、おばあちゃんもいます。当然、走ることは難しいでしょう。駅まで車で送ってもらえばと言う人もいますが、やはり歩いて来る人はいます。電車が目の前まで来ていた時、学生の私達でも走るのはつらいです。その上、電車が停止している時間は三十秒近くなので、乗り過ごしてしまうと、また2時間近く待たなくてはなりません。

それでは、どうしても遊佐町に遊びに来る人が少なくなってしまいます。そこで、町の方で、次に私が言う意見をJRの方に伝えていただきたいのです。

遊佐町を全国の人達に知っていただく為にはどうしても電車の本数を多くしてほしいということです。繰り返すようですが、人が一番嫌いなのは、やはり待ち時間だと思います。せめて三十分～四十分一本電車が走っていれば、待たなくてもいいし、自分が帰ろうと思った時にすぐ帰れるからです。

遠くから来ている人も不便にはならないと思います。それは、電車が何本も走っていれば、家に着く時間だって夜中になることはないからです。そして、電車が動く限り、いつでも遊佐町に遊びに来れるようにしたいのです。

その為には、遊佐町をもっと発展させなくてはなりません。今、私達少年議会はどうしたら良いかと案を出し合い、少しでも町が良い方向にいけばいいと考えています。

しかし、遊佐町が発展しても、交通が不便だったら意味がないのです。電車の本数を増やしていただけるようにJRの方で話し合っていたきたいのです。

私の考えた案を取り入れてほしいのです。よろしくお願い致します。

少年議員

佐藤 麻里奈



私は少年議員の佐藤麻里奈です。

私は遊佐町の他へのPRについて考えてみました。遊佐町は「空気がキレイ」「水や米がおいしい」「緑が多い」という意見があります。遊佐町は自然が多くて美しく、米など食べ物がおいしいという意見が主なようです。問題はこれらの点をどのように誰にアピールするかということです。「誰に」、遊佐町を知らない人や他県で良いと思います。方法としてはまず、積極的にメディアに出ていくことです。テレビCMはもちろん、ラジオで遊佐町を紹介するコーナーを設けてもらうのも良いと思います。遊佐町の特産品や歴史等、色々な面を紹介していけば良いと思います。そしてもう一つ、皆が口をそろえて美しいと言う“鳥海山”をもっとアピールしたほうが良いと思います。鳥海山の四季を撮影したカレンダーを作れば良いと思います。カレンダーならほぼ毎日目にするし、利用

価値が高いという利点もあります。

遊佐町を他へPRするにあたって、私が気になることがあります。それは遊佐町民が遊佐町に対して不満を持っているという現状です。「つまらない町」「暮らしやすすくない」「雰囲気暗い」等、改善していかなければいけない点が沢山あります。まずはこれらの不満を解消していき、遊佐町民が遊佐町を好きにならなければ、他へ自慢することは出来ないと思います。そのためにも私達少年議員はもちろん、町全体となって遊佐町改善のために頑張っていく必要があると思います。明るく華やかで活気のある町にしていきたいです。それと同時に何か町民皆が楽しめる行事を増やしたほうが良いと思います。他の町や市の人参加して楽しめるような、そんな行事やお祭り事が増えれば、もっと活気が溢れ盛り上がると思います。そうやって他から遊佐町への足を運ぶきっかけ作りをするのも一つの手だとも思います。

このようにして、積極的に色々な手をつくして遊佐町をアピールしていき、結果的に大勢の人からの知名度を上げていきたいなと思います。遊佐町の良い面を全面的に出していき、イメージアップにもつなげていけたら良いなと思います。

成澤 一樹



私は少年議員の成澤一樹です。

私は、多くの意見から、遊佐町にたりないものは何か考えました。その中から私は、三つに絞ってみました。それは、バリアフリー、人との交流、少年議員を知ってもらうことです。

まず一つ目のバリアフリーについては、この遊佐町は、お年寄りが多い町です。だからこそ私は、バリアフリーが必要と思いました。もっと具体的に言えば、スロープをつける、急斜、段差をなくす、危険な場所を直すなどです。スロープは、お年寄りにはとても役に立つと思います。急斜、段差は、私達は普通に生活していても、お年寄りにはとても生活しにくいと思うからです。危険な場所については、私達にも言えることです。そのような場所は、ケガをする原因にもなります。道路の穴やでこぼこのような、ささいなことでも、お年寄り

にとっては、ケガの原因にもなると思います。私は、このようなことをやっていくことにより、お年寄りだけでなく町全体が安全で住みやすくなると思います。

そして、二つ目の人との交流については、交流の場が無い、公園を作ってほしい、遊ぶ場所を作ってほしいなどの多くの意見がありました。特に多かったのが、バスケットリングの数を増やしてほしいでした。前々から出ていた意見ですが、私はいいと思います。

このことは、そこにバスケットリングなどを設置すれば、人がきて、そこが交流の場になると思ったからです。ほかにも、公園など遊ぶためだけでなく、いろいろな人が集まれるように新しく作った方がいいと思います。

最後の三つ目は、大きなイベントをやってほしいというのがありました。私はこれも大きな交流になると思います。例としては、ツーデーマーチがあると思います。ツーデーマーチなどは、ほかの町からも多くの人が集まり、とてもいい交流になっていると思います。二つ目とかぶっているかもしれませんが、私はそれが二つ目につながると考えています。そして、この意見については、思った以上に多くの人から、イベントなどをやってほしいとされていることでした。このようなことを多くやれば、町の活性化にもつながり、とてもいいと思います。

しかし、これは私が少年議員になり、意見を出す方から、意見を聞く方になり思ったことで、少年議員の活動があまり、つたわっていない部分があると思いました。なぜなら、中学の時などは、実際にあまり少年議員を教わらなかったからです。私はこのことを踏まえ、これからのことを、たくさんの人に知ってもらえるようにしたいと思っています。

以上のことを政策としたいと思います。まだ少年議員になってわからないこともありますが、がんばっていきますので、よろしくお願いします。

三浦 和也



僕は少年議員の三浦和也です。

僕は、「あいさつあふれる明るい町」について、「遊佐町の危険箇所」の2つの政策をまとめました。まず初めに、「あいさつあふれる明るい町」については、「あいさつが少ない」や「あいさつをもっと徹底したほうがいい」などの意見がありました。

僕は、この意見を見てあいさつ運動や、あいさつの看板設置が必要だと思いました。あいさつは人と人との一番基本のコミュニケーションなので、遊佐町内で行われるイベントという交流の場、またイベントでなくても協力しあうことがあった時でも、あいさつから人とのつながりを広めて、気軽に話しをしたり協力し合うことのできる関係が一人でも多くなってほしいというのが僕の一番の理

想です。

しかし、実際あいさつや人と接することが苦手な人がいてすぐに実現できることではないと思います。過去の政策提言を見てみると「あいさつ運動」、「あいさつの看板設置」の政策がありました。あいさつ運動は過去と同じく、行事の場で少年町長、少年議員全員で積極的に行いたいと思っています。あいさつの看板設置は、町民のみんなが意識してあいさつができるよう工夫して完成させたいです。

次に「遊佐町の危険箇所」について提案します。危険箇所についての意見では「壊れているコンクリートを直してほしい」や、「歩道がなくて危ないところがある」がありました。

コンクリートの破損は、歩く人、自転車に乗っている人にとっては、ちょっとしたことで転んでしまうと大けがになりかねないと思います。僕も友達と一緒に歩いていた時に友達が転びそうになったのを見たことがあります。これがもしお年寄りの方だったら命に関わる事故になってしまいます。

歩道についても、歩道がないところを歩くのは車との接触で事故につながってしまいます。

これは個人の意見になりますが、遊佐町から危険箇所をへらすことは事故をへらすことにもなるので、町の中を点検する機会があったら、その機会を増やしてほしいです。危険箇所がある、ないなどの報告がなくとも危険箇所はすぐ気づける所にあるとはかぎらないので、報告がなくとも事故がおきてからでは遅いので、地域の方で実際に見回る機会を作ってほしいです。お願いします。

少年議員

上野 夏実



私は少年議員の上野夏実です。

私はこれからの遊佐町のために、「遊佐の人口問題」について取り組んでいこうと思います。遊佐は年々子供が減少し、高齢化が進んでいます。だから私は、遊佐をもっと住みよい町にするのが一番の対策ではないかと考えました。

まず、意見調査で一番多かった問題から解決しようと思います。最初に、街灯の設置です。遊佐は暗くなると、まだ危ない場所が多く大変危険です。そして暗ければ、交通事故にもつながることにもなりかねません。私も暗い道は、怖いし、歩きたくないなあと思います。この街灯についての意見はたくさん寄せられています。今すぐにでも解決しなければならぬ問題だと私は考えます。

住みよい街にするためには、住みやすい環境も必要です。最近、遊佐にはちらほらとゴミが見えます。ゴミは勝手にあらわれるものでも、元からあるものでもありません。ですからそれは、今この遊佐にポイ捨てがあることをあらわしています。意見調査からも、このゴミの多さについて多くの意見が出ています。このままゴミが多いままだと、遊佐の住人が暮らしにくくなり、イメージダウンにもつながります。それを改善するには、まずポイ捨ての多い所、そして公共の場にゴミ箱を設置すれば良いと思います。この案を使えばポイ捨てをする人が少なくなってゴミも減り、遊佐のイメージアップともなるはずですよ。

それから私は、もっと遊べる場所が必要だとも思っています。意見調査でも多くの意見が出たこの案ですが、そう簡単に遊べる場所が作れるわけでもありません。ですから、遊び場を作るより、遊ぶ機会、つまりイベントを増やすべきではないかと思っています。ツーデーマーチのような大きな企画とまではいかなくとも、皆が楽しめるイベントを考え、開催すれば、幅広い年代の交流ができると思います。

今回意見調査から三つの意見を出し、それに対する対策を考えましたが、私は今回、もっと身近に声を聞いた政策をしたいと思っています。そこで考えた案は、遊佐の至る所にポストをつけて、そこに遊佐に関しての意見、要望などを書き込んで入れてもらうのです。その意見要望などについて話し合うだけでなく、たよりにして遊佐町民にどんなものがきたか、どんな風にきまったかを伝えるのです。議員の今していることを町民に理解してもらうことができ、町民と近い政策を実現することができるのではないかと思います。

これらの政策は、やはり少年議員だけではできません。町民の皆様と協力してできる政策だと思います。一生懸命がんばりますので、短い間ですがよろしくお願いします。

太田 隆佑



ぼくは少年議員の太田隆佑です。

自分は、遊佐町のゴミ、ボランティアについて意見をまとめました。

まず、「ゴミ」についてです。若者の意見調査を見て、「ゴミが多く汚い、ポイ捨てが多い」という意見がでました。このことについては、そもそもゴミというのは、出でしかたない物ですが、それをきちんと処理するか、しないかで決まります。自分勝手にそこらへんにポイ捨てをするというのはけっしてゆるされません。遊佐町のきれいな自然も、その自分勝手な行動でこわされてゆくのです。どんどんゴミが自然に捨てられていき、森や森林がなくなれば、植物や動物も死んでしまいます。それで、この町は鳥海山もあり美しい町だ、と言えるのでしょうか。言えませんよね。ポイ捨てを防止するには、町民の方々の協力が必要で、なるべく、ゴミになるような物を持ち歩かないという事が大切です。また、遊佐町でも呼びかけをしたり、看板をたてたりと出来る事はたくさんあります。以上の事をしていけば、ゴミは

なくなるのではないのでしょうか。

次は、「ボランティア」についてです。若者の意見調査を見て、「ボランティアは、学校では積極的だが個人ではそうではない。」という意見が出ました。たしかにそうだとは思いますが、ボランティアというのは、自分から積極的に取り組むもので、やらない人にはよびかけなどをすればいいと思います。ぼくは、小学校の時、ボランティアクラブに入った時がありました。その時、周りの人は、とても協力してくれました。ある人は、自分で老人ホームに行き、ボランティアしているといっていました。このような事から、ボランティアをしている人はしています。していない人は何か理由があるのではないのでしょうか。「めんどくさい」、「ほかの人がするからいいだろう。」と思っている人もいます。その人たちはなぜ、そのように思うのでしょうか。例えば、お年寄りの方々は、だんだん体がわるくなり、外出も出来なくなります。そこでボランティアでお世話をしている方もいます。自分がかぜをひいた時の事を考えて下さい。家の人が見病してくれることでしょうか。仕事を休んで、医者連れて行ってくれる事もあるでしょう。それと同じような事なのです。さきほど言った、「めんどくさい」などの言葉は、ボランティアをしている方々に失礼ではありませんか。遊佐町にも、ボランティアをしている団体があります。その団体を遊佐町内に広めようではありませんか。

自分は今年このような事に力を入れていきたいと思っています。遊佐町の問題点を一つ一つなくしていきたいです。どうぞよろしくをお願いします。

少年町長

齋藤 和紀



僕は、少年町長の齋藤和紀です。

今年の活動を振り返って僕はとにかく忙しい年だったと思います。去年も議員をやらせていただき、忙しいと思いましたが、しかし、それ以上に忙しかったと思います。ソーランや生徒会執行部が重なり、議会に行けなかった事が多々ありました。その中で自分が言った公約「町民花の苗植え」に参加出来なかった事を悔しく思います。

去年に決定した、若者が選ぶ町民花として「シバザクラ」が選ばれました。今年はそれを八ツ面川の川辺に植えるという企画を立てました。10月27日に予定をしていたのですが、その日にソーランの発表が入っていました。残念ながら僕は参加できなかったのですが、議員の皆さんが僕の代わりに苗を植えてくれました。来年の四月頃には八ツ面川の通りが「上も桜、下も桜」という、とて

もきれいな通りになることでしょう。

次に、今年が一番大きなイベントだったと思われるスペシャルオリンピックストーチランの話します。今年の議会が発足してすぐの頃に、元首相の奥さんと、スペシャルオリンピック日本名誉会長である細川佳代子さんにお会いする機会がありました。そのときに、「スペシャルオリンピックトーチランを少年議会が主催でやってみないか？」というお誘いを受けました。正直、自分では「こんなに大きいイベントを成功させることができるのか」と思っていました。実行委員長という立場でみなさんの前であいさつを行ったり、トーチを灯したりしなければならず、とても緊張していました。トーチランの日は、あいにく雨でした。中止か実行かわからない程、朝は雨が降っていました。しかし、雨も少しずつ弱くなっていき、なんとかトーチランを実行することができました。あいさつを済ませ、僕がトーチランの先頭に立って歩きました。各公民館の周辺を歩き、遊佐の人たちにもスペシャルオリンピックを知ってもらえたと思います。成功するかとても不安でしたが、僕の中では大成功だったと思っています。

その次に遊佐ロックです。僕の公約としてもう一つ「遊佐ロックの野外化」がありました。残念ながら野外化はできませんでしたが、遊佐ロックも大成功に終わったと思っています。そして、課題も一緒に見つかったと思います。今年は社会人バンドが3つ、高校生バンドが1つと遊佐高ソーラン、合計5団体が参加してくれました。どのバンドの人も楽しそうにやっていたので、とてもよかったと思っています。観客動員数も80人と、大勢の人が見に来てくれました。課題として浮上してきたと思ったのは、観客の動員の仕方を変えるということです。例えば、有料のチケット制にするというものです。千円など高額なお金にするのではなく、百円、二百円などにして「買ったから行ってみるか」という人を増やすのです。参加したバンドの知り合いや、自分達の知り合いに販売すれば今年よりも人が増えると思います。あとは参加バンドを増やすということです。今年は僕も仕事が忙しく、宣伝やお誘いなどもすることができませんでした。10団体ぐらいあればかなり知り合いの人にも声をかけてもらうこともできます。これ二つだけでも相当、人の入りが違います。来年の遊佐ロックはこの点にも注目して頂いて、開催して欲しいと思います。

他には、「少年議会ネット」というものを作ってみませんか。先日、生徒会執行部の行事で、ニューリーダーセミナーというものに行ってきた。ここで長井市で行っている「少年議員」の人にお会いできました。遊佐町を模して少年議会が全国にできていると思います。それなら全国の少年議会を集めて、活動報告を行ってみるのは面白いのではないかという話をしてきました。他の少年議会の取組みを聞き、自分達の意見に取り入れることもでき、自分達がやっていない事を知る事ができます。自分達のためにもなると思います。それを「少年議会ネット」として、インターネットでリンクしたりして交流をしたり、全国に広めるのです。

僕が来年の少年議会にやっていただきたいことは、今言った事です。遊佐ロックをチケット化にして、来場客数250人を目指してもらいたいです。それに少年議会ネットの設営をして頂きたいと思っています。

最後に、今年はとても充実した一年になりました。様々なイベントにも参加できず、議員の人には申し訳ないこともありました。少年町長を経験し、人をまとめるのは難しいと知るとともに、人と意見を出し合う楽しさも知りました。今年一年、議会と役場にはお世話になりました。ありがとうございました。

渋谷 茜



私は、少年議員の渋谷茜です。

私は第5期少年議会に参加して本当に良かったと思います。スペシャルオリンピックス・トーチラン遊佐では、様々な人と交流でき、かけ声を言いながら歩きました。遊佐ロックは、第1期から続けてきたとても大事な活動だったので、緊張や不安で一杯でした。しかし、参加してくれた人や、議員のみんな、たくさんの人の協力があって無事に終える事ができました。遊佐町夕日祭りのCM収録や町民盆踊り大会、鳥海ソーデーマーチでのエール、神鹿角切祭にも参加し、どの活動も振り返ってみると楽しいことばかりでした。

少年議会の活動を通し、たくさんの人と出会い、支えてもらう事で、政策が実現していきました。その事がとてもすごい事で幸せな事でもあるのだと実感しています。遊佐町の事を考え、活動できた事、たくさんの方の協力や支えが

あって私自身も成長できたような気がします。活動の中で、後悔する事もありました。しかし、この経験がこれから先、私の力になり、助けになってくれると思います。

第6期少年町長・少年議会へ伝えたい事は三つあります。一つ目は、遊佐ロックについてです。遊佐ロックは遊佐町やこれから遊佐町を担っていく若者が今以上に活気溢れる町にするために始められました。今年は、高校生からの出演はバンド一組と遊佐高ソーラン一組だったので、第6期からは高校生を中心にたくさんの参加者を集め、今年以上に盛り上げてもらいたいです。

二つ目は、少年議会のホームページについてお願いしたいと思います。遊佐町をたくさんの方に知ってもらいたいというのと、少年議会の活動や少年議会そのものに興味を持ち、参加してくれる人が増えるようなホームページを作成してほしいです。

三つ目は、遊佐町をどのような町にしたいかという強い考えを持ち、想像してみしてほしいです。また、考えた事を発言し、遊佐町を盛り上げてほしいです。

最後に、遊佐町に提言したい事は、若者からお年寄り、幅広い年代が一緒になって参加し、交流できる、そんなイベントを増やしてもらいたいです。お年寄りから若者へ世代を超えて交流する事で遊佐町の発展にも繋がると思っています。

短い間でしたが、少年議員として遊佐町に関わった事、高校3年という最後の機会に少年議会に参加できた事がとても嬉しいです。私はこの町が好きです。今日で少年議会からは卒業ですが、今の気持ちをそのままに、これからの遊佐町にも関わっていきたくと思います。貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。

遠田 万梨子



私は、少年議員の遠田万梨子です。私が少年議員に立候補し約5ヶ月、とても早く感じられました。私は、地元が酒田なので、遊佐町のことはまったくわかりませんでした。しかし、少年議会での活動を通し、遊佐町のイベント・行事など、様々なことを知ることができました。もし、少年議員に立候補していなければ、高校3年間遊佐町の事を知ることもなく、ただ、学校に通っただけになり、そのまま卒業していたかもしれません。今回、少年議員として活動できたことは、とても貴重な体験だと思っています。

今回、私が政策提言したJRへの電車増の要請については、良いお返事をもらうことができませんでした。しかし良い返事がもらえなくて残念というよりは、むしろJRの事情をわかりやすく説明してくれた、伊藤駅長さんに感謝すべきだと思いました。電車の本数を増やしてほしいという私達のわがままだけで

はなく、各学校の協力も必要なのだということを改めて知りました。私は伊藤さんの話を聞いて良かったと思っています。今までは、ずっとJRの方々を説得させようとばかり思っていました。これからは学校の校長先生を説得させることも考えた方がよいのではないかなと思いました。

次に、私が少年議会での活動で一番印象に残っていることを述べたいと思います。一つ目は、シバザクラを植えたことです。その日は5名での活動だったのですが、面倒くさい面倒くさいと言いながら行った作業がとても楽しかったです。予定時間より1時間ほど早く終わり皆が喜んでるのが印象に残っています。二つ目は、町民盆踊り大会です。踊りがわからず、周りの人のマネをしながら踊るのが精一杯でした。しかし、踊りがわからなかったのは私だけではなく、皆も同じだったということがわかり笑いながら踊ったのが楽しかったです。

次に、第6期少年町長・少年議員に伝えたいことは、私達の実現できなかったバリアフリーについてです。理由は、遊佐町は、お年寄りが多い町であるためバリアフリーにする必要があると思ったからです。特に、道路の段差・デコボコした道は、お年寄りの方だけではなく、夜、暗くなると私達でも足元が見えないので怖いです。なので、遊佐町民が住みよい町を作って下さい。お願い致します。

最後に私が遊佐町に提言したいことは、米～ちゃんグッズをもっとたくさん作って欲しいということです。今回私達が案を出し合って決まったのが、米～ちゃんのストラップです。ストラップだけではまだまだ物足りないような気がするので、これからもたくさん作って米～ちゃんグッズを広めていってほしいです。よろしくお願い致します。

私は、高校生活の最後に少年議員をやった良かったと思っています。来年の春から毎日遊佐町に来ることはもうないと思いますが、機会があったらまた遊びに来たいです。その時は、自分達が植えたシバザクラも見れたら良いなと思っています。

短い間でしたが、ありがとうございました。少年町長・少年議員の皆と一緒に活動したことは忘れません。

少年議員

佐藤 麻里奈



私は、少年議員の佐藤麻里奈です。私が少年議員をやろうと思ったきっかけは、今までの内向的な自分を変えてみようと思ったからです。高校生活の面でも学級長や生徒会などに参加していて、少年議員への参加も何か自分を変えるための一つになると思いました。

また、少年議員の存在は当然前々から知っており、多方面で活動していることも知っていました。そこに自分も遊佐町の中高生の代表として加わり、活動を試みたいとも思いました。

実際活動をしてみて感じたことは、「何か一つのことをするには、沢山の努力と協力が必要」ということです。小さなことでも大きなことでも、それを成しとげるには沢山の努力と協力が必要で、そう簡単に出来るものではないと実感しました。

第5期少年議員の活動を振り返ってみると、実現したことや参加した行事が多く、とても充実した活動が出来たと思います。部活動や習い事と重なり、参加出来なかったものもありましたが、どの活動も楽しく行えたと思います。色々な行事に参加してみて、今まで知らなかった遊佐町の行事や文化を知ることができました。

そしてもう一つ、遊佐町民の遊佐町に対する不満や意見、思っていること、少年議員に対するイメージなども知ることができました。どの意見も貴重なものばかりで、自分が気づかなかった遊佐町の良さ・悪さを改めて再発見しました。

私達少年議員がやった活動だけでは、正直遊佐町が良くなった、活性化したとは思えません。自分自身が最初にかかげた、「遊佐町を他にPRする」というのも、完璧ではなかったと思います。何か少しでも遊佐町のためになることをしようと思ってやった活動は全て、大きな意味を持っていたと思います。

この反省をバネにし、来期の少年議員の方達には、もっともっと頑張りたいと思います。私達の実現出来なかったことはもちろん、私達が考えつかなかったようなことなど、色々な活動をして欲しいです。なるべく多くの中高生に自分達が住む遊佐町に興味・関心を持ってもらい、沢山の中高生の少年議員への参加があれば良いなと思います。そして、遊佐町・少年議員の知名度を上げていけたら良いと思います。

成澤 一樹



僕は少年議員の成澤一樹です。少年議会の活動は僕を大きく成長させてくれたと思います。少年議員の活動一つ一つが、僕の生きていく上で、大きな経験になったと思います。そして、その中から責任や期限を守ること、人前で話すということを学びました。

責任や期限については、自分の行動一つで他の人に迷惑をかけてしまうことです。これは、自分の行動に責任を持ち、周りの人に気をくばることが大切だと思いました。

人前で話すことは、少年議員では、そのことが少なくなかったからです。そして、ただ台本をそのまま読むだけでなく、その場に応じて、読む文をつけたしたり、減らしたりと、臨機応変に対応しなければなりません。そして、このようなことを、今後にかかしていければいいと思います。

少年議会の活動はたくさんありましたが、スペシャルオリンピックス・トーチラン遊佐、遊佐ロックが一番印象に残っています。

トーチランの方は、山形の山寺の方まで行き、採火式・分火式を見るところから始まりました。見ている分には、すごいなあと思っていましたが、実際にやってみるとなると大変な部分が多かったです。

天気はあまり良くなく、開会式も中でやるなど、いろいろと心配されましたが、最後まで終了してよかったです。そして、このことで遊佐の人と少年議員が一つになり、同時にトーチランを知ってもらえるいい機会になったのではないかと思います。

そして、遊佐ロックは、自分達でやるということが一番大変でした。限られた時間でやることは、思ったより多かったです。その中でも、広告と司会をまかされた僕は、かなり大変でした。

広告は、一から考えなくてはならず、苦戦しました。司会は、本番の台本もなく、少年町長から昨年の流れを聞き、一から組み立てるのがやっとで、本番の時に多少ズレが生じるがありました。それでも、自分の仕事をやり通すことができよかったですと思っています。

他にも、少年議員でやったことは、多々あり、活動一つ一つが遊佐のためにやっている、ということを実感できたと思います。

活動を終えてみて、第6期少年議員に伝えたいことは、少年議員の活動をより多くの人に伝えてもらうことと、遊佐ロックをもっと盛り上げることです。

大きなイベントのようなものは目に入っても、全員協議会の内容や、シバザクラを植えるなど、目立たないところでの活動を、だれでもすぐわかるようにしてもらいたいと思います。

遊佐ロックについては、お客の人数にバラつきがある、宣伝が足りないなどがあったと思います。合計的にはお客の人数が多くても、司会の方から見ると少なかったと思います。ほかに、仕事によって、やらなければならないことに差が出たりと、個人的には改善しなければならない点もあったと思います。遊佐ロックは遊佐町を盛り上げるイベントなので、続けていってほしいと思います。

最後に、遊佐町の自然、文化などを地域の人と協力し、守ってほしいです。そして、ツーデーマーチなどのイベントをきっかけに、全国にPRしてほしいと思います。

少年議員というものを体験でき、本当に良かったと思います。少年議員は大変でしたが、とても楽しかったです。いままで本当にありがとうございました。

三浦 和也



僕は、少年議員の三浦和也です。

まず最初に、僕は少年議員になって何よりも一番自分が変わったと思うことがあります。それは、自ら行動して自信をもってやろうとするという気持ちが、議員になる前よりも高めることができたことだと思います。何かをするとき、人前に出て発表するなどということには、以前はほとんど自信が持てなくて、行動へ移すのには遅くなっていました。得意とまではなっていませんが、今では人前で何かをやるのが議員になる前よりも、自信を持って行動へ移すことができるようになってきたと思います。

そして少年議会では遊佐町について色々なことを知る機会にもなりました。今まで僕は、この遊佐町の行事は、いつ何処で何が行われるかさっぱりわからない状態でした。「遊佐町って行事とか少ないなあ」と思っていたほどです。

しかし、実際少年議会での活動の中で行事に参加する機会が多かったことに驚きました。参加した行事の中でも大変だったと思うのは音楽イベントである遊佐ロックでした。遊佐ロックは、自分と成澤一樹君とで司会を務めることになりました。行事の中で進行というのは初めての事でどのようにすればいいのかアドバイスはいただいたのですが、言葉で言われるだけでは、どういうものなのかほとんど感覚を掴むことができませんでした。このようなことが活動の中で何回もありましたが、少年議会のみならず、協力していくことで、とても楽しく様々な活動を行うことができたと思います。

そして、活動の中での反省点、出来なかったことは自分が提言した「あいさつあふれる明るい町」などのアンケート結果への活動が自分の計画不足で進めることが出来なかったことです。どのようにあいさつを広めていかなどを考えているうちに、他の活動が進んでいき、肌寒い季節へと移り変わってしまっていて、準備期間をとることができませんでした。なので、次の議会であいさつに関する活動を活動予定としている人がいれば言っておきたいことがあります。あいさつはすぐに浸透するものではないのでゆっくりと受け継いでいくように活動を進めてほしいのです。それとあいさつ運動は天気が荒れてくる秋から冬に移り変わる時期以外で活動することを前提にしてやってほしいと思います。計画不足な自分が言えることではないと思いますが、計画を早めに立てて、ユニークなあいさつの広め方をしてほしいです。もし次の少年議会に街にあいさつを広めたいと思った方がいたら是非考えてほしいと思います。自ら活動を行えず本当に申し訳ありませんでした。

そして「遊佐町の危険箇所」を直すことについてですが、このことについては最初に提言したときに町全体で行っていると聞いて安心しました。しかし、一つお願いがあります。どのように直されたのか、よくわからないので危険箇所だった場所が直された、という結果を少年議会に教えてほしいのです。そして、これからも危険箇所を無くす活動をよろしくお願いします。

最後に遊佐町に提言しておきたいことを言いたいと思います。遊佐町では多くの行事があります。しかし、せっかく沢山ある行事が、アンケートで「行事が少ない」などをみかけたので、いまいち知られていないようです。実際自分自身も少年議会に入る前はそのような気持ちでした。もしできればですが、もっと宣伝活動を行って多くの人に知ってもらえば町が活気づくのではないかと思います。遊佐町の様々な行事を見てきて、やっぱり自分の住む遊佐町が一番良いなあと感じることができました。この半年間お世話になりました。

上野 夏実



私は少年議員の上野夏実です。少年議員の活動を振り返って思ったことは、とにかく予想以上にとても忙しかったことです。遊佐ロックや議会、その他のイベントが終わったらすぐ計画ということになり、最初は頭が追いついていなかったと思います。ですが活動が終わった今、議員の仕事ができてよかったと思います。

少年議会は、私には程遠いものだと思っていました。大変なんだろうと思いつつも、あまり気に留めていませんでした。しかしそんな私が少年議会へと参加して、いろいろな行事や祭に加わり、こうして活動を終わると思ってもみませんでした。大変忙しい思いはしましたが、その分たくさんのものを得られました。まず一つは、たくさんの人と出会うことができたことです。議員のみんなや活動を通じて知り合った人々との出会いは、ここでしか得られなかったと思

います。そして、それで感じたたくさんの大切な想いは、一生色あせない大切な宝物です。本当にありがとうございました。

二つ目は、いろいろな活動を通じて、いろいろな経験ができたことです。私ひとりでは、絶対に得られない貴重な経験ばかりでした。この経験のおかげで、最初うまく発言ができなかった私は、少しずつちゃんと言えるようになりました。これから先、少年議員に参加したことを無駄にしないようにしていきたいと思います。

次に、第6期少年町長・少年議会に伝えたいこと、やってもらいたいことは二つあります。

一つは遊佐ロックの開催です。今期やった遊佐ロックでは、80人来て下さいましたが、会場内に入った方は来て直ぐ帰ってしまったりして、いろいろとさみしいライブとなってしまったようです。遊佐ロック自体は、とてもいいイベントです。どうか次のときは対策を考えたり宣伝をちゃんとしたりと、楽しくもっともっと盛り上がる遊佐ロックにして欲しいと思います。

二つ目は、少年議員を知ってもらうための呼びかけをしてもらうことです。それぞれの行事やイベントに参加はしていましたが、自分たちを知ってもらうためのもののような企画などはしていませんでした。少年議員は自分たちのことをちゃんと分かっていますが、やはり遊佐町民はそうとはいきません。地区の方たちとのふれ合いを忘れず、町民のみなさんにもっともっと知って分かってもらえるような少年議会にして欲しいと思います。

少年議員としての時間は、短いものでしたが、その時間のおかげで一回り成長することができたと思います。遊佐のために精一杯議員の皆でがんばれたことをほこりに思います。この半年間いい経験をさせていただきました。お世話になった皆さん、今までどうもありがとうございました。皆さんに助けられながらここまでがんばってこれたと思います。半年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

太田 隆佑



僕は少年議員の太田隆佑です。僕の少年議会の活動の中で実現させたかった事は、「ゴミ」についてと「ボランティア」についてです。

まず「ゴミ」についてです。これについては「マイバッグ運動」を計画し、今月中に行う予定です。この際には、環境問題についての質問をいくつか行い答えて下さった方に、バッグを差し上げます。遊佐町の環境を守るためにぜひ町内のみなさまには、マイバッグを持っていただきたいと思います。

次に「ボランティア」については、時間がなくトーチャンには参加しましたが、あとは特になにも出来ませんでした。この問題は、第6期少年議員の人から実現していただきたいです。

少年議会全体の活動の一つの「遊佐ロック」は、自分的に町内の方々への

呼びかけが悪いと思いました。色々工夫し、呼びかけをしっかりとしたほうがよかったなと思いました。今年は、延べ80人位しか入りませんでした。来年はもう少し来てくれたらいいと思います。鳥海山神鹿角切祭では、神水という仕事をさせてもらい、角を切る鹿に水と塩をのませるという仕事でした。角を切られるのは少しかわいそうでした。ですが、もう二度と出来ないような体験をさせていただきました。

他にも、花植え、花火のCM作り、ツーデーマーチのあいさつ、スペシャルオリンピックストーチラン、米～ちゃんのマスコット作りなど様々な活動をしてきました。どれも自分には初めての活動ばかりで、わからない事がたくさんあった中で少年町長をはじめとする、高校生の議員のみなさんには、色々教えていただく事がたくさんあり、とても感謝しています。これに関わって、自分は、剣道部に入っていて、土・日曜日に大会や遠征で夏の政策提言の発表会当日や、スペシャルオリンピックストーチランの日などと重なってしまい、参加出来ないということも少なくありませんでした。その時に他の議員のみなさんに助けてもらい、本当に良かったと思います。ありがとうございました。

少年議員として生活していたこの一年、自分に足りないところを見つける事が出来ました。一つは、目標(色々な活動)にむけて、精一杯努力する、という事です。自分はまだ中学生なので、高校生の動きはずばらしいと思いました。行動のすばやさ、準備などその活動に向けて色々な計画等、自分に足りないところがたくさんありました。これらを見つけさせてくれたのは、高校生また、この少年議会でした。この一年間とてもいい体験をさせてもらえたなあとと思います。今までは「少年議会って何も活動してない」と思っていたのですが、大きな間違いだったと少年議員になってそう思いました。正直最初はまわりに少年議員になる事を反対されていましたが、それをおしきって、議員になり本当に良かったです。

自分は今年で終わりですが、少年議会は終わりません。ですからこれからは未来の遊佐町に向けて、がんばって行ってみたいです。短いあつという間の一年間でしたが、本当にありがとうございました。

第5期少年町長・少年議会の活動

若者が選ぶ町民花(シバザクラ)植栽(10月28日)



第4期少年議会(平成18年度)が、選考・決定した「若者が選ぶ町民花(シバザクラ)」を植栽しました。植栽場所については、町民が身近に楽しめる所にと十分に協議した結果、八面川沿い桜並木下に決定しました。

来年の4~5月頃に、白とピンクの花が綺麗に咲くことでしょう。今後、このことをきっかけにして、シバザクラが町内に広がっていくことを少年議会一同期待しています。

スペシャルオリンピックス・トーチラン遊佐(11月3日)

きっかけは2007年7月に、細川佳代子さんと対談したことでした。細川さんの想いに応える形で少年町長を実行委員長として、トーチランが実施されることになりました。

そして11月3日、町内5施設のアスリートと中学生サポーターなど総勢150名が参加して“つなげよう友情・愛情の輪”のスローガンのもと、町内6地区、約6kmにわたって住民の皆さんの声援を受けトーチランが行われました。初めは緊張した面持ちだったアスリートの皆さんでしたが、「気持ちよかった」、「いい思い出になった」等の感想が聞かれ、これをきっかけにして遊佐町においてもスペシャルオリンピックスの活動が普及する事を期待したいものです。今回のトーチランにおける各施設の利用者、そして遊佐町に住む中高生、住民の皆さんの積極的な参加が、“冬季ナショナルゲーム・山形大会”を成功に導くのではないのでしょうか。



音楽イベント「遊佐ROCK」開催(11月25日)



遊佐町を若者が集まる活気溢れる町にするために始まった、少年議会が企画・運営を行う音楽イベント「遊佐ROCK」が今年も中央公民館を会場にして開催されました。

当日は、高校生と社会人による熱い演奏と踊りに客席から拍手が巻き起こりました。少年町長・少年議員も、会場準備から司会まで全員がスタッフとして活躍しました。

電車増発に向けた署名活動・陳情(署名活動:11月中旬、陳情:12月18日)

意見調査で出された「バスや電車を利用しやすくしてほしい」との要望に応えるため、11月12日~22日にかけて高校生と中学3年生を対象にして、学校の帰宅時間帯の電車増を求める署名活動を行い、合計607件の署名を集めました。

そして12月18日に、募った署名とともに有権者の想いとして要望書を象潟駅に提出しました。



第5期少年町長・少年議会の活動

マイバッグ運動(12月22日)

意見調査において多数あり、また近年話題になっているゴミ・環境問題への対策として、町内のスーパーマーケットで「マイバッグ運動」を実施しました。マイバッグを持参していない方を対象にして、ゴミ問題に対するアンケートをし、マイバッグを配布しました。

この活動によって、町民のゴミ・環境問題への意識の高揚につながることを期待されます。



町民盆踊り大会参加 (8月14日)



鳥海ツーデーマーチエール (9月1日・2日)



神鹿角切祭スタッフ(10月8日)



その他の活動

遊佐町夕日祭りCM収録(7月23日)

スペシャルオリンピックス採火式・分火式参加(8月25日)

遊佐町芸術祭ポスター選考(9月13日)

あったげさんめ祭“スペシャルオリンピックス”ブース担当(10月21日)

議会開催 少年議会(本会議形式) 3回 全員協議会 8回

平成19年度遊佐町少年町長・少年議会公選事業プロジェクト名簿

	所 属	職 名	氏 名
1	教育委員会	教育次長	高橋 勤一
2		教育次長補佐兼生涯学習係長	青葉 信子
3		総務学事係長	菅原 清和
4	議会事務局	局長	佐々木 正紀
5		次長兼議事係長	金野 周悦
6	総務企画課	課長	高橋 幸紀
7		総務係主任	中川 三彦 (選挙管理委員会書記)
8		企画係長	本間 康弘 (事務局)
9		企画係主任	奥山 仁志 (事務局)
10		企画係主事	渋谷 和弘 (事務局)

遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

担当課 教育委員会・議会事務局・選挙管理委員会・総務企画課

おわりにかえて

平成19年度少年町長・少年議員公選事業にご支援、ご協力をいただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

「町民参加型の活動」をキーワードに掲げ、アンケートによる政策決定や参加型イベントを実施することで、有権者との関わりを深めていきました。政策提言については、それぞれが自分の思いを自分の言葉で提案しておりました。この毅然とした態度は驚きであり、新鮮なものとして、感じる事ができました。本当にこの町のことを考えた提言であり、若者が今どんなふうにもっているのかが、わかったような気がしました。

本事業も今年で5期目を迎え、各マスメディアから取り上げていただくことも多く、また有権者を含む多くの町民の皆さんへの活動内容をホームページ等で伝えることができ、かなり認知されたきたと思います。

本事業は町政への提言・政策実現が全てではなく、人材育成・相互教育という側面を多分に含んでいます。政策の実施は活動の極々一部に過ぎず、それに至るまでの話し合い、地域住民を含んだこの事業に関わる全ての関係者との出会いが、彼らを逞しく成長させているのだと思います。

私ども事務局は、教育関係者ではありませんが、町の明日を担う若者が成長していく姿に触れられることは、驚きや感動に出会うことでもあり、感謝の念に堪えません。もしかしたら、彼ら自身が一番驚いているのかもしれない。今後は彼ら自身が、自らの経験を有権者に伝え、本事業が有権者の中で盛り上がっていくことを期待したいものです。

若者が、地域を見つめ、地域の中で居場所・活躍する場所を自分達の力で作り出し、「誰かに必要とされている」「自分はここにいていいんだ」という自分の存在意義や喜びを、この遊佐町の中で見出す。そのために、行政や地域の大人が、しっかりと彼らと向き合い、励まし応援しながら、共に地域をつくっていく。少年議会の活動は、このまちづくりの基本を我々に教えてくれました。我々行政も、少年議会の皆さんが残したまちづくりの芽を大切に育み、将来を担う若者を積極的に支援していきたいと考えております。

最後に、学業、部活動など多忙な学校生活の中、時間を惜しまず活動してくれた個性豊かな8人の若者達に感謝するとともに、彼らの未来が実り多きものになることを心から願っております。

平成20年3月

山形県遊佐町役場総務企画課企画係 本間 康弘・奥山 仁志・渋谷 和弘